

第 67 号 夏号 発行月：令和 2 年 7 月

# 和はっは



四天王寺和らぎ苑 季刊誌

## もくじ

新人新任職員さん

こんにち和！

夏祭りのご報告

コロナ感染症感染

予防の対策

春祭りのご報告

和敬の集いについて

発行者：四天王寺和らぎ苑広報委員会

ホームページ

四天王寺和らぎ苑

〒584-0082 富田林市向陽台 1-3-21

Tel: 0721-29-0836(代) Fax: 0721-29-3916

# 新人新任職員さん こんにちは和!

前回に引き続き、和らぎ苑に4月から入職された8名の方を紹介していきます。  
2ページにわたり紹介させていただきます。暖かなご声援の程、よろしくお願い致します。

インタビュー時に3つの質問をしました!

- ①好きな事
- ②はまっている事
- ③意気込み・一言!



佐藤 隆之介(作業療法士)

- ①温泉に行く事
- ②映画を見ること  
(パイレーツオブカリビアン・美女と野獣・シンデレラ等)
- ③たくさんの笑顔を見られるように頑張っていきたいと思います。



鈴木 博子(看護師)

- ①K-POP (BIGBANG・WINNERのグループ)
- ②BIGBANG・WINNERのライブへ行くこと
- ③利用者様の笑顔が日々見られるように、安定した看護介護を提供できるように頑張ります。



森屋 ユキ(看護師)

- ①小田和正の曲を聴きながらドライブ、ショッピング(裁縫や料理も好きですが…最近出来てません)
- ②ネットショッピング、大食いタレントの番組鑑賞
- ③ご利用者の笑顔が続くように、そして1日も早く自分自身も笑顔で接することができるように頑張ります!



松下 由佳(支援員)

- ①人との会話、ゲーム
- ②①でお答えした2つを兼ねたTRPGというお話をするゲームにはまっています。
- ③とてもわくわくした気持ちで働かせていただいています。楽しみながら大切なことを確実に覚え、先輩方のような立派な職員になれるよう努めます!よろしくお願い致します。



黒澤 淳二(作業療法士)

- ①利用者さんとの関わりの中で新たな発見に出会えること。
- ②献血。現在164回終了。
- ③障害のある子どもと家族と支援者の本人主体のリハビリテーションを探索・実現するために毎週月曜日、お世話になっております!なんでもお申し付けください!



奥野 良一（支援員）

- ①オンラインのゲーム
- ②ボーリング
- ③ご利用者様の笑顔が見られる様な、介護をしていきたいです。

吉田 花奈（理学療法士）

- ①身体を動かす事・旅行、ドライブ
  - ②ヨガ 料理
  - ③一日一笑
- 分からないことも沢山ありますが、精一杯頑張ります！！

阪本 理沙（介助員）

- ①音楽鑑賞や歌う事。  
WANIMAをよく聴きます。
- ②ママ友や友達とオンライン飲み会！
- ③頑張ります！

## 春祭りのご報告

これまでの春祭りは、毎年家族様のご参加により、賑やかな雰囲気の中実施して参りました。

しかし新型コロナウイルス感染予防対策の為家族様には、ご理解とご協力のもと参加は見送りさせて頂きました。当初計画していた春祭りとは内容が異なり、短期間での計画の中で春祭りをいつもより小規模ながら実施出来た事は、今はもう古い単語となりつつありますが、和らぎ苑そして和らぎ苑の対応にご理解頂きました家族様含め One Team を改めて認識した様に思います。

さてどんな催しを行ったかといいますと、若手職員が撮影した映像を使いご利用者と一緒に体操を実施致しました。実施に至るまで療法士にもフロア職員の相談にのって頂きながら身体を動かすことが困難なご利用者も、マッサージや体の可動域を考慮しながら一緒にゆっくり動かしました。ご利用者が楽しみながらもリラックスした様子が随所に見られたように思います。また、密にならない様、一部、二部とグループ分けで対応致しました。

お昼ご飯も、鮭ちらし寿司・天ぷら盛り合わせ・卵豆腐・蛤のすまし汁・イチゴとご利用者に喜んでいただける内容であり、楽しい昼食のひと時を皆で過ごしました。

世間では新型コロナウイルスによる感染は減少していますが、まだまだ油断はできません。あらためて和らぎ苑の対応を含め、今後ともご理解とご協力をよろしくお願い致します。

行事委員



# 夏祭りのご報告

今年度の夏祭りは、和らぎ苑職員によるダンス映像の上映会を実施致しました。新型コロナウイルス感染予防対策の為、例年のように夏祭りを実施し、交流を通して楽しんで頂く事が困難な状況でも、例年以上に工夫を凝らし、楽しんで頂ける雰囲気作りや動画作成に力を注ぎました。ダンスで使用した曲選定については、幅広い年齢層のご利用者に楽しんで頂けるように『エピカニクス』『Be My Baby』『DESIRE -情熱-』『カンナムスタイル』『ようかい体操』『恋ダンス』を選定しました。司会職員の盛り上げもあり、ご利用者の笑顔も多く見られ、賑やかな夏祭りとなりました。昼食については、今回は鶏飯・お好み焼き・枝豆腐・パインアップルを提供させて頂き、日常と違う食事においても楽しんで頂きました。



## 和敬の集い（敬老祝賀式）についてのお願い

昨年 60 歳以上のご利用者を対象に和敬の集い（敬老祝賀式）を開催させて頂きました。今年も 9 月中旬に開催する予定です。今回につきましてはコロナウィルス感染予防の観点から、対象のご利用者のご家族の参列は控えてくださいますよう、ご協力お願いします。楽しみにされていたご家族も多くいらっしゃると思います。このような判断になったことについて、和らぎ苑としても誠に心苦しく思っています。ご理解とご協力をお願い致します。

## 新型コロナウイルス感染症への対策と現状

昨年 12 月に中国武漢で発生した新型コロナウイルス感染症（COVID-19）。日本にも必ずやってくると思いましたが、世界中の人と人の繋がりを、ここまで遮断してしまう状況になるとは、全く予測していませんでした。日々変化する感染状況と全国の施策の情報が流れる中で、「安心」を見つけることができませんでした。和らぎ苑も、ご利用者ご家族に、様々な場面の制限をお願いすることになりました。緊急事態宣言が発出された時期は、危機感が強まり、人がいない公園や道端の草花の色合いが眩しく映り、そして和らぎ苑の玄関は人の出入りが無いことに違和感と寂しさが漂っていました。その中で、「もし和らぎ苑にこの感染症が発症したら」を想定して、話し合いを重ねました。最初に直面したのは、物品不足です。マスク、手指消毒薬、ガウンなどの入荷が止まってしまいました。マスクの使用制限はやむなく実施しました。ガウンは感染症が発症すれば対応しきれない在庫はなく、ゴミ袋でガウンを作製しました。フェイスシールドやキャップも手作りです。3 密を避けた環境整備、そして何より力を入れて取り組んだのは、感染予防策の取り組みです。せっかく作製した防護具も、正しく着脱しなければ、感染拡大につながります。正しい防護具の着脱や手洗い手指消毒の方法は、職員全員で研修会を実施しました。また、職員の健康も必ず確認しています。緊急事態宣言が解除されてから、不足していた物品は充足してきました。「今まで」を取り戻すために、職員一同慎重に様々な取り組みを始めていますが、この感染症の終息はなく、予想より早く第 2 波の対応を実施する時が来てしまいました。

でも、いつか必ず、形は変わっても、職員とご利用者、ご家族、人と人が安心して繋がる時が来るはずです。その時まで、皆さまと共に乗り越えたいと思っております。よろしくお願い致します。

四天王寺和らぎ苑 看護部長  
若井 敦子